

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月09日

計画の名称	朝霞市における下水道整備（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	朝霞市												
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,888	A	1,888	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	継続的な浸水対策を促進するために効率的雨水管理総合計画を策定する。 効率的雨水管理総合計画の進捗率 計画策定までの検討済項目 / 計画策定までに実施すべき検討項目 8項目 / 8項目=100%	0%	100%	100%
2	下水道による都市浸水対策達成率を増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 都市浸水対策完了済み面積 (ha) / 都市浸水対策を実施すべき面積 (ha) 0.74ha/0.74ha=100%	0%	0%	100%
3	朝霞排水第3分区の都市排水対策達成率を増加させる。 朝霞排水第3分区の都市排水対策達成率 都市浸水対策完了済み面積 (ha) / 都市浸水対策を実施すべき面積 (ha) 1.60ha/1.60ha=100%	0%	0%	100%
4	下水道ストックマネジメント計画に伴う改築率を増加させる。 下水道ストックマネジメント計画に伴う改築率 改築済み延長 (km) / 改築を実施すべき延長 (km) 3.30km/3.30km=100%	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	朝霞市	直接	朝霞市	管渠(雨水)	-	効率的雨水管理総合計画	計画策定	朝霞市						21	-	
	A07-002	下水道	一般	朝霞市	直接	朝霞市	管渠(雨水)	新設	朝霞排水区雨水整備(浸水対策)	実施設計、管渠工事(L=0.43km)	朝霞市						282	-	
	A07-003	下水道	一般	朝霞市	直接	朝霞市	管渠(雨水)	新設	朝霞排水第3分区雨水整備(浸水対策)	用地買収、実施設計、ポンプ場等工事	朝霞市						950	-	
	A07-004	下水道	一般	朝霞市	直接	朝霞市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント計画に伴う改築	設計、改築工事 工事延長L=3.3km	朝霞市						635	-	
											小計						1,888		
											合計						1,888		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	8				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	8				
前年度からの繰越額 (d)	13				
支払済額 (e)	21				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 朝霞市における下水道整備（防災・安全）

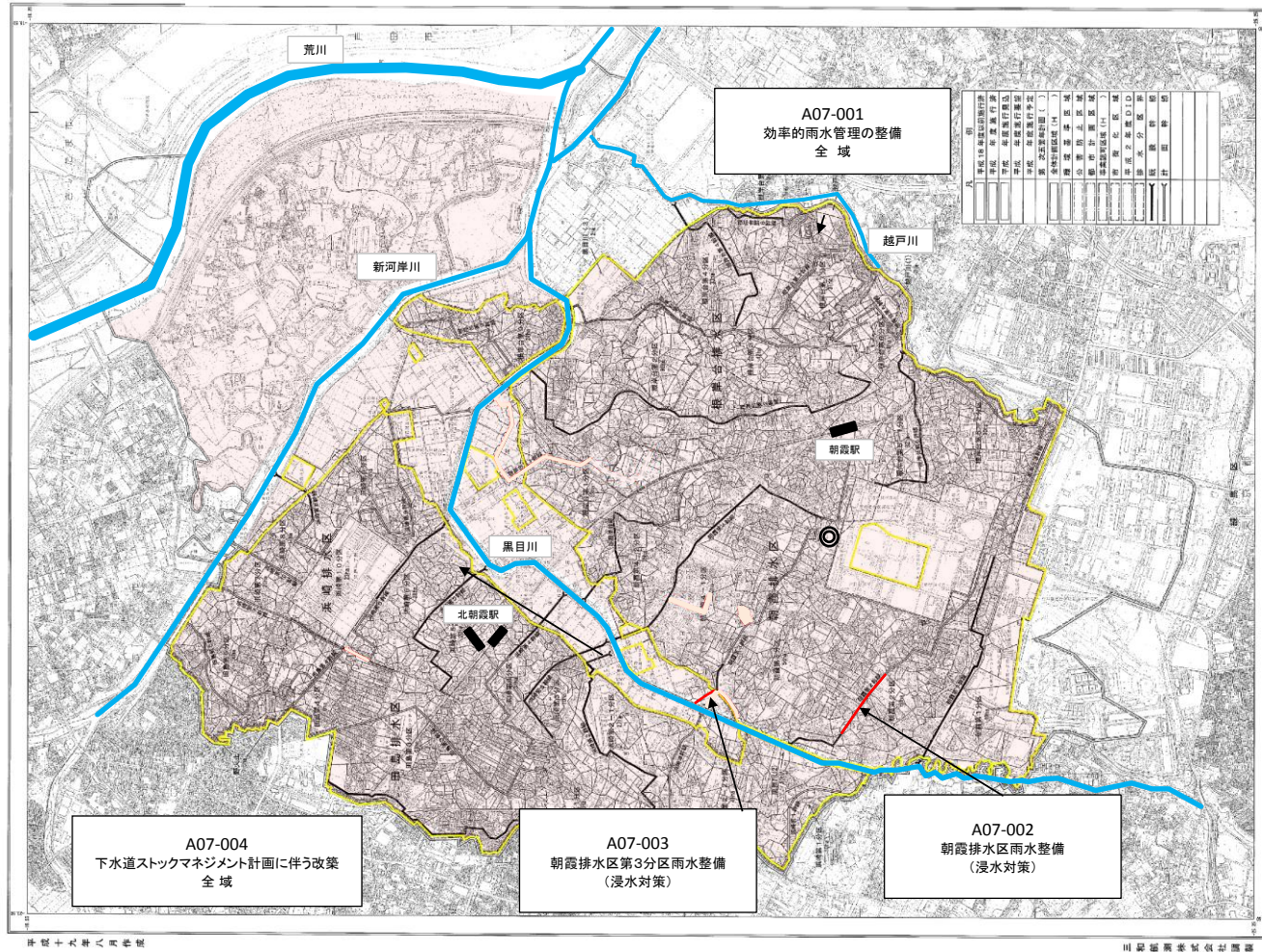
事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など事業の熟度が高い。	○

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	朝霞市における下水道整備 (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	朝霞市

荒川右岸処理区計画図

朝霞市公共下水道事業計画図(雨水)



事業種別	事業内容	事業実施年度	事業実施期間	事業実施場所	事業実施区画	事業実施区画番号	事業実施区画名称	事業実施区画面積	事業実施区画単価	事業実施区画総額	事業実施区画単価	事業実施区画総額
雨水	効率的雨水管理の整備	全域										
雨水	下水道ストックマネジメント計画に伴う改築	全域										
雨水	朝霞排水区第3分区雨水整備	浸水対策										
雨水	朝霞排水区雨水整備	浸水対策										

凡例

- 下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
- 既設幹線
- ポンプ場
- 処理場
- ハザードマップ整備

整備予定箇所の色分け

- 新設 (赤)
- 増設 (青)
- 改築 (緑)